

摘果デーを開催 (Vol. 18 令和7年5月)

5月13日に、県現地機関の研修会を兼ねた「摘果デー」を開催しました。南信農業試験場の職員に加えて、南信州地域振興局農地整備課、南信州及び上伊那農業農村支援センター、飯田家畜保健衛生所、南信会計センター飯田分室、農業大学校の学生ら38名が2班に別れて、南信農業試験場内のナシほ場(約4ha)の摘果作業を行いました。

ナシの摘果作業は、早期に着果数を減らすことで果実の細胞分裂を促し、初期肥大を促進するために欠かせない重要な作業です。この日は予備摘果として、「着果位置(向き)」と「肥大」の良い果実を1果そうに1果程度残して摘除する作業を行いました。

天候に恵まれ、日中の最高気温は26℃近くを記録するなど、初夏を感じさせる暑さのなか、摘果作業を体験頂きながら、職員間の交流を深めることもできました。参加者からは「好天に恵まれ、気持ちよく作業することができた。摘果作業の大変さや、試験場の取組みを知ることができる良い機会になった。」などのご意見を頂きました。

今シーズンも大きな気象災害が無く、秋には美味しい果実がたわわに実ることを祈っております。



摘果作業の説明



摘果の前後